

安全データシート (SDS)

作成日 2011年2月18日
改訂日 2017年2月16日

1. 化学品（製品）及び会社情報

製 品 名 : JA-103 ガラスクロスアルミ蒸着フィルム付
会 社 名 : 株式会社ジャパンアイビック
会 社 住 所 : 〒262-0045 千葉県花見川区作新台5丁目4番1号
担 当 部 門 : 開発営業部
電 話 番 号 : 043-259-9461
F A X 番 号 : 043-259-9571
緊 急 連 絡 先 : 043-259-9461
推 奨 用 途 : 空調用たわみ継手材料／一般工業用
整 理 番 号 : 0003

2. 危険有害性の要約

分類の名称：分類基準に該当しない
危 険 性：なし
有 害 性：知見なし
環 境 影 響：知見なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物
：ガラス繊維＋ポリエチレン系接着剤＋アルミニウム蒸着フィルム

成分及び含有量 : ガラス繊維 100%

	: ポリエチレン系接着剤	
<div style="font-size: 4em; vertical-align: middle; padding-right: 10px;">{</div>	ポリエチレン・メタクリル酸共重合体のアイオノマー 官庁公示整理番号… (6) -23 C A S No. : 25608-43-0	>99%
	: アルミニウム蒸着フィルム ポリエチレンテレフタレート 化学式または構造式：[CO-(C6H4)-CO-O (CH2) -O] n- 官報公示整理番号：7-1022	>97%
	アルミニウム C A S No. : 7429-90-5	<0.5%
	各種付加剤	≤2.0%

国連分類及び国連番号の危険物に該当しない

4. 応急措置

目に入った場合：こすらずに15分以上水で洗浄し、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：水で洗浄する。
吸入した場合：多量に吸入した場合は、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：多量に飲みこんだ場合は、医師の手当てを受ける。

5.火災時の措置

消火方法：空気呼吸器を着用して消火にあたる。

消火剤：散水、ドライケミカル、泡、炭酸ガス

※消火時、アセトアルデヒド、一酸化炭素などの有毒性ガスを含む恐れがあるため、自給式の呼吸装置が望ましい。

6.漏出時の措置

漏出しないため必要なし

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：取り扱い場所周辺の火気使用を禁止し、静電気、衝撃火花などによる着火源が生じないように注意をする。

：直接口に入れたりしない。

：摩擦などによる静電気ショックや静電気障害に注意する。

：出来るだけ常温で使用する。高温時に伸縮して変形することがあり、また低温時には硬くなり衝撃で破損する場合がある。

：輸送あるいは保管時、荷崩れ防止策を講じるようにする。多段に積むと荷崩れを起こしやすく、思わぬ怪我をすることがある。

保管：直射日光、水漏れ、急激な温度変化を避け、火気源のない場所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度：規定なし

許容濃度：規定なし

設備対策：必要に応じて局所排気装置、除塵装置（バグフィルター）の設置をする。

保護具：呼吸保護具を着用する必要がある。呼吸保護具としては、濃度に応じて国家検定を受けたフィルターの取替えができるタイプ、または使い捨て式防塵マスクを選定する。

また、保護めがね、手袋、作業衣は、必要に応じて作業に適した保護具を使用すること。

9.物理的及び化学的性質

外観：光沢のある銀色

臭気：なし

比重：データなし

融点：258℃（アルミニウム蒸着フィルム）

溶解度：不溶

引火性：300℃以上

発火点：575℃以上

10.安定性及び反応性

安定性：通常の取り扱いにおいては安定。

反応性：標準状態では危険な反応はない

危険有害な分解生成：燃焼や加熱により二酸化炭素、一酸化炭素ガスが発生する。

11.有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

：知見なし

12.環境影響情報

：知見なし

13.廃棄上の注意

- ：廃棄する場合は、周辺に繊維が飛散しないように注意し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）の区分に従って処分すること。
 - ：公認の産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、その団体に委託して処理する事も出来る。
-

14.輸送上の注意

- ：特にないが、取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
-

15.適用法令

- ：知見なし
-

16.その他の情報

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、内容は新しい知見により改訂されることがあります。また、記載の注意事項は通常の手続きを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取り扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取り扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取り扱ってください。
